

時代を 読む

渡辺 利夫



うち一億六千万人が潜在失業者籍のまま移動せざるをえない。

しかし著者たちがそこで見たものは「誰にも想像もつかないほどの貧しさであり、想像を絶する凶悪さであり、貧しさであり、きらめ」であったという。

農村の貧困は「つまるところ中国そのものの問題なのだ。それは農業問題や経済問題にとどまるものではなく、政権党が今記録している。

私の推計によれば、都市の失業者数は中国公表の数倍、

中国の人口動態を知る最新の資料が、二〇〇〇年に実施された人口センサスである。これによると、省間移動者が四千二百四十万人であり、流出先は四川、安徽、湖

南、江西、河南など中西部の比較的貧しい省であり、流入先が広東、上海、浙江、江蘇、北京などの沿海発展地域であることがわかる。

省間労働移動の中心は農民の向都移動である。農民は農民の

籍のまま移動せざるをえない。化しているという。また国務院新聞弁公室が発行した「雇用状況・政策白書」は、二〇〇三年の農村からの出稼ぎ労働者は九千八百万人を超え、その数は一九九〇年の六倍に達したことを

中国の人口動態を知る最新の資料が、二〇〇〇年に実施された人口センサスである。これによると、省間移動者が四千二百四十万人であり、流出先は四川、安徽、湖

南、江西、河南など中西部の比較的貧しい省であり、流入先が広東、上海、浙江、江蘇、北京などの沿海発展地域であることがわかる。

省間労働移動の中心は農民の向都移動である。農民は農民の

籍のまま移動せざるをえない。化しているという。また国務院新聞弁公室が発行した「雇用状況・政策白書」は、二〇〇三年の農村からの出稼ぎ労働者は九千八百万人を超え、その数は一九九〇年の六倍に達したことを

中国の人口動態を知る最新の資料が、二〇〇〇年に実施された人口センサスである。これによると、省間移動者が四千二百四十万人であり、流出先は四川、安徽、湖

南、江西、河南など中西部の比較的貧しい省であり、流入先が広東、上海、浙江、江蘇、北京などの沿海発展地域であることがわかる。

中国農村の貧困と農民流動

中国のルポルタージュ作家陳桂棟・春桃夫妻の執筆になる『中国農民調査』がこの十一月一読、強い衝撃を受けた。三年間にわたり安徽省の五十の県に足繁く通い、そこで観察された農民の絶望的な貧困、搾取、弾

圧のさまを迫真の筆致で描き切った秀作である。真実をひたすら読者に伝えようとする著者の筆には熱いものが籠もっており、文学的価値においても私は高い評価を惜しまない。

し海賊版が後を絶たず、日本語訳についで英・独・仏語訳の出版も目下進行中と聞く。

「おのれの命にも等しい土地を手放し、生活の頼りの村を離れ、黙々と励んできた農業をやめ、さみじき、くやしき、つら

し海賊版が後を絶たず、日本語

え「安徽省といえは、この省の鳳陽県の農民が禁を破り請負制を

し海賊版が後を絶たず、日本語

採用して増産に成功し、これが

し海賊版が後を絶たず、日本語

モデルとなり全土の農村改革

し海賊版が後を絶たず、日本語

が推進されたという経緯があ

し海賊版が後を絶たず、日本語

ば、二〇〇一年の農村労働者の

し海賊版が後を絶たず、日本語

中国社会科学院の推計によ

し海賊版が後を絶たず、日本語

れ、黙々と励んできた農業をや

し海賊版が後を絶たず、日本語

め、さみじき、くやしき、つら

(拓殖大学学長)